

かえる便り 28年33号

平成29年3月7日

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

卒業式前日の2日に保護者会主催の卒部式を行っていただきました。三年間の思いや支えてくれた人への感謝、自分自身の努力不足等を素直に表現していました。チーム、自分の感想・反省など様々ですが、親へ感謝する姿に毎年感銘を受けます。

私自身、指導する最後の学校で仕上げの年にするつもりで勝負に拘ってきたつもりですが、部員を“心底から勝ちたいという気持ち”にさせることが出来ませんでした。彼らの誰もが“勝ちたい”と思っていますが、“真に王者となる行動”を継続して出来ていないと感じることが多々ありました。残念、悔いが残ります。



昨年卒業した生徒が 福岡教育大学 に合格しました。彼は選手権直前の最後の練習試合で捻挫をしたため、選手として大会に出場することが出来ませんでした。しかも、次の対戦相手を分析するため他会場にいたので、自チームの試合(まさか最後の試合になるとは…)を見ていないのです。結局、一度も選手権でプレーすることは叶わなかった部員です。その悔しさが彼を成長させたのでしょうか… オメデトウ!!



3年間、物心両面にわたりご支援していただきありがとうございました。彼らの成長を楽しみにしています。今後とも応援よろしく願いいたします。 感謝!!